

# 遠野には可能性がある これからが大事

遠野ホップ農業協同組合  
代表理事組合長

かずゆう  
**菊池 一勇さん**

宮守町鱒沢-77歳-

**Profile** 1944(昭和19)年生まれ。旧宮守中、花巻農業高卒。JA勤務を経て就農。ホップ栽培歴47年。議員を約20年務め、議長も歴任した。高校時代は柔道部。主に先鋒を担った。性格を「負けず嫌い」と自己分析する。ビールは麒麟派。



「ホップはおれの人生。おめえはホップ馬鹿とも言われてきた。死ぬまでやるべな」と笑いながらも言葉は力強い。遠野ホップ農協の組合長に就任して3年目。ホップ産業の振興に情熱を注いでいる。

農家の長男で、自然と農家を志した。高校在学時は国の政策で食料や畜産など国内生産を高めていこうとする社会情勢。「農業を変えていこう」と意気込んでいた。人の命と国営地域を守るうえでも農業は大事。農業で自立できる農家を目指していた」と当時を振り返る。

30歳で就農。ホップ栽培など手掛ける父を手伝いながら、土地を借り畑にして棚を立て、ホップ作りを始めた。米やシイタケなども経験した。「麒麟ビールとの契約栽培で販売価格が安定している。所得目標がはっきり立つ。やるべきだと思っただ」。それから47年、現在は4圃場、約138アールのホップ畑を営む。

遠野でホップ栽培が始まったのが1963(昭和38)年。同年、市と麒麟ビールが契約栽培を結び今年で59年になる。かつて遠野は、生産量日本一を誇った一大産地。ビールの魂とも呼ばれるホップを育ててきた。「50年来、ホップを作ってきた農家さんたちが高齢に。安価な外国産の影響などもあり、生産者は約50年で200戸程減った。遠野のホップ

産業は今が過渡期、このまま放っておいては終わってしまう」と危機感を強める。施設の老朽化や所得向上など、乗り越えるべき課題もある。「農家だけで解決するのは難しい。行政や民間企業の力が必要」と思いを語る。「遠野といえばホップと言われるような全国に誇れる特産物にしたいし、若い人が集まるようにもう少しいい産業にしたい」といけないうと力を込めた。

近年は、ビールの里構想を軸とした新しい動きにも期待が高まっている。麒麟は今年、買取価格を上げるなど、農家が栽培を持続できるような支援を続けている。地域おこし協力隊として市内でホップ作りをした後、本格的に就農した青年もいる。企業のホップ栽培参入の動きなどもある。「移住してきた若者たちを中心に、さまざまな人たちがこの産業を守り、発展させるため頑張ってくれている」と嬉しそうに語る。

収穫最盛期を迎えた加工処理センターにホップが次々と運び込まれる。天候の影響も受けたが、品質は十二分。今年も、みずみずしい香りとともに全国へと届けられる。菊池組合長は、「市内外問わず、遠野でホップをやりたい人がいれば私たち組合がお世話したい。課題はあるが、遠野のホップには可能性がある。これからが大事」と前を向く。

kikuchi kazuyu

## 目次 Contents

- 03 クローズアップ遠野
- 06 キラッと、遠野人。
- 08 遠野まつり50th
- 10 市からのお知らせ  
「ねっと・ゆりかご」15周年講演会/食育まつり告知 ほか
- 14 総合カレンダー
- 16 休日当番医(下半期)
- 20 学びのいずみ
- 22 インフォメーション
- 24 遠野市歴訪  
キラリ！地域おこし協力隊
- 26 30th遠野納涼花火まつり
- 28 まちの話題  
河川愛護団体知事感謝状/コミュニティ・スクール研修会 ほか
- 30 みんなの広場
- 32 青春のトーク ほか

市からの情報発信中  
遠野市公式「LINE」「Twitter」

LINE: @tonocity  
Twitter: @tono\_city

## 今月の表紙 Cover Story

ビールに欠かせないホップを収穫する農家さんたちです。作業は朝7時頃にスタート。ホップの香りが広がり、トラクターのエンジン音、農家さんたちの声が響く心地良い空間でした。



### No.18 (株)高田自動車学校 遠野ドライビングスクール

代表取締役社長 田村光 従業員数/70人(男性55人、女性15人)  
所在地/青笹町糠前37地割29番地7 問い合わせ/☎63-2080

遠野ドライビングスクールは、▷車▷バイク▷ドローン—などの運転・操作に関する技能・学科教習を行っている会社で、地域の交通安全センターとしての役割も担っています。

平成16年の開校以来、毎年約1,000人を受け入れ、安全な運転技術を教えています。一昨年からはじめた運転寿命を延ばす研修会「イキイキドライバーズクリニック」を全国に先駆け導入。運転・認知機能検査と弁当がついたサービスは高齢者からも好評です。

車は生活に欠かせない必需品。市民の皆さんに安全運転の大切さを伝え、引き続き悲惨な交通事故の絶無を図ります。

話/管理者 渡邊正行さん  
副管理者 松田真也さん

※とびあ1階に雇用PRコーナーを開設しています



## 各種統計 Statistics

市の人口(7月末現在)  
男性:12,203人(-20)  
女性:13,012人(+10)  
合計:25,215人(-10)  
高齢化率:41.4%(±0)  
世帯数:10,690世帯(+11)  
※( )内は前月比

交通事故発生件数(7月中)  
物損34件 人身2件 死者0人

救急車出動回数(7月中) 135件

火災発生件数(7月中)  
建物・林野・車両・その他0件

## 広報広聴 Public Relations

**ホームページのご案内**  
情報満載の市ホームページでは、広報遠野の最新号やバックナンバーもご覧いただけます。

**市政なんでも相談箱のご案内**  
市への意見・提言、広報遠野への感想などは、主要施設に設置している「市政なんでも相談箱」(下図)への投書か市ホームページの「お問い合わせ」を活用してお寄せください。

